

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立志茂田中学校

今年度の重点化観点…知識・技能

重点指導事項…漢字や語彙力などの基礎知識の定着を目指す。

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・漢字検定や漢字小テストを通じて漢字力の向上を図った結果、第2、3学年においては成果が見られた。
- ・全ての学年で目標値を上回ることができた。

(2) 課題

- ・語彙力の向上に努めてきたが、目標値を大幅に上回ることができなかった。今年度も【知識・技能】の観点に重きを置き、漢字や語彙力など基礎学力の定着を目指したい。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	段落構成で書く問題の正答率が目標値よりも低い。また、自分の考えを書く問題も目標値、全国平均よりも低い結果が見られた。総じて書く力の課題が多く見られることがわかった。	言葉の特徴や使い方に関する項目が目標値を超えていない。一方で他の項目においては目標値を上回っており、読むことに関しては全国よりも高い結果が見られた。	漢字の書き取りと漢字を読む力、及び、言語文化に関する問題の正答率が低い。説明的な文章や文学的な文章の読み取り問題の正答率が高い。文章を書く問題の正答率も各平均より高い。
第2学年	目的に応じて、必要な情報を読み取り、解釈する問題の正答率が低い。また、歴史的仮名遣いの知識に関する問題の正答率が平均よりも低い。	漢字の書き取り問題の正答率が目標よりも区の平均正答率よりも低い。説明的文章の読解問題の正答率が区の平均正答率より低い。	説明的な文章の内容を読み取ることに課題があった。漢字の書き取りの正答率は他の学年より高い。
第3学年	説明的な文章の内容の読み取りにおいて、文章の表現の効果について考えたり、目的に応じて複数の情報を整理しながら内容を解釈したりする問題の正答率が低い。また、記述問題の得点率が目標値より低い。	漢字の書き取り問題の正答率が目標よりも区の平均正答率よりも低い。説明的文章の読解問題の正答率が区の平均正答率より低い。	説明的な文章の内容を読み取ることに課題があった。漢字の書き取りの正答率は他の学年より高い。

(2) 分析 (観点別)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	目標値に近い結果が見られたため、今後も継続して知識・技能の向上が見込める学習活動を行う。	言語文化の項目と読むことの項目が目標を大きく上回っているため、更に伸ばすことのできる教育活動を行う。	目標値に近いものの、今後も主体的に取り組むことができるように声かけなどが必要な結果である。
第2学年	目標値や区・全国の平均値を上回っているが、漢字の書き取りの力を伸ばさないといけない。	目標値や区・全国の平均値を上回っているが、説明的文章の読解力を伸ばす必要がある。	全体的に目標値を上回っており、主体的に学習に取り組む態度は身につけているほうである。ただし、目標としては6割台を目ざしたい。授業の発問から変えていく必要を感じる。
第3学年	現代語訳を手掛かりに古典を読む力を伸ばす必要がある。漢字と文法については、目標値よりも全国正答率よりも校内正答率が高い。	目標値や区・全国の平均値を上回っているが、説明的文章の読解力を伸ばす必要がある。また、記述問題の正答率を伸ばす必要がある。	全体的に目標値を上回っており、主体的に学習に取り組む態度は概ね身につけている。一部の学習に対する向上心に欠けている生徒が心配である。

3 授業改善のポイント (観点別)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	定期的な小テストを通して、基礎学力の定着を目指す。また、知識が断片的にならないように資料集や動画を活用した授業を行う。	学習した知識を応用させるための思考力を養う取り組みを行う。ペアワークやグループワークやICTを適切かつ効果的に活用する。	漢字小テストの繰り返しやお互いの学習のフィードバックを通して国語に対する興味関心がもてるような授業を行う。
第2学年	小学校履修配当の教育漢字の書き取りができるように、定期的に小テストを実施し、漢字が書けるように指導する。漢字検定の受検奨励も行う。	教科書掲載の説明的文章のみならず、新聞等に掲載した論説文や評論文等の説明的文章を提供し読ませる機会を増やす。	日頃の授業の中で、学習目標を明確にし、日常生活に行かせる国語を意識させる授業を心掛け、学習意欲の向上を目指す。特に表現しようとする心と自信を育てたい。
第3学年	中学校履修配当の常用漢字の書き取りを含めた語句の読み取りの力を付けるための小テストを月に2回実施する。漢字検定の受検奨励も行う。基本的な古語の復習を行う。	説明的文章の読み方について改めて学習させ、教科書掲載の説明的文章のみならず、新聞等に掲載した論説文や評論文等の説明的な文章を提供し正しく内容を読み取らせる訓練を行う。	お互いの努力を認め合う学習活動を通して主体的に学習に取り組む態度を育てたい。また、受験を意識した学習を通して課題への取り組みなども意識向上を目指したい。

